

# 『捨てるうんこで拾ういのち』

みどり病院 院長 松井一樹

当院では2009年より、岐阜健康友の会とともに『捨てるうんこで、拾ういのち』を合言葉に、便潜血検査による無料大腸がん検診を取り組んできました。今回はこの間の取り組みの成果を報告したいと思います。

一般に、便潜血検査が陽性で精密検査が必要と判定される割合は約5〜10%、大腸がんが見つかる割合は0.1〜0.2%といわれています。つまり、大腸がん検診を1万人の方が受けた時に、500〜1,000人が便潜血陽性となり、そのうち10〜15人が大腸がんと診断されるわけです。また、大腸がんの約3割以上がこの検査をきっかけに発見され、そのうちの7割が早期がんといわれています。ではみなさんと取り組んできた当院の無料大腸がん検診の統計を見ていきましょう。

2009年以降の11年間の総受診者数は11,909人、うち便潜血陽性により精密検査が必要と判定された人は1,557人(要精検率13%)、その中で精密検査を実際に受診した人は910人(精検受診率58%)でした。また、この検診を通してがんを発見された人の数は2012年〜2019年で30人、受診者数に対する割合は0.3%でした。見つかったがんのうち16件(53%)が早期がん、14件(47%)が進行がんという結果でした。

一番の成果は、16件の早期がんを含む30件のがんを発見できたことです。便潜血検査にて陽性となった患者さんから見つかる大腸癌はその多くが早期がん

です。早期がんの段階で治療ができれば完治が期待できます。また進行がんでも、症状が無く便潜血検査がきっかけで見つかった場合は、自覚症状が出てからみつかった場合に比べて他の臓器への転移が少ないとの報告もあります。まさに『捨てるうんこで、いのちが拾えた』のです。

便潜血が陽性になっても精密検査を受けなければ、大腸癌の有無を確認することはできません。当院での精密検査受診率は58%ですが、これは全国的な統計54%より良い数値であり、岐阜健康友の会のみならずの健康意識の高さが数値として現れていると考えています。

また、年間の受診者数が増えていることもわかります。年間1000件を目標に始まったこの無料大腸がん検診ですが、近年では年1200〜1300件の方が参加しています。

年々多くの方がこの無料大腸がん検診に参加されるようになってきており、便潜血が陽性ならしつかり精密検査を受ける方も多い、健康意識の高い岐阜健康友の会ならではの成果ではないでしょうか。

当院では2017年末に大腸CTを導入しています。大腸CTの導入により、これまで内視鏡検査の実施を拒まれていた患者様もお気軽に検査を実施して頂けるようになり、精査実施率の上昇につながっています。早期発見・治療の為に、便潜血検査で陽性反応が出た場合には、必ず内視鏡検査・大腸CTを受けましょう。

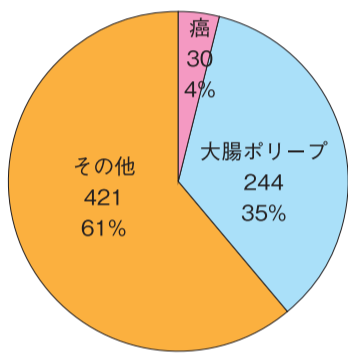
無料で低額診療制度は、経済的な理由で医療費の支払いが困難な方の医療費の自己負担金の減額や免除を一定期間行う制度です。医療機関ごとに行政より認可を受ける必要があるのですが、どの病院でも利用できる訳ではありません。岐阜県内では、岐阜勤労者医療協会の関連事業所4か所と他の病院1か所で行われています。

◎体調が悪く仕事ができず収入が途絶え、お金がかかり病院にかかることができなかった方

◎保険証がなく医療費の請求が心配で病院にかかることができなかった方

◎定期通院が必要だがお金のことを考えると病院から足が遠のいてしまった方などが、これまでにこの制度を利用されています。相談がきっかけで、他の公的な制度利用につながる方もいます。(制度

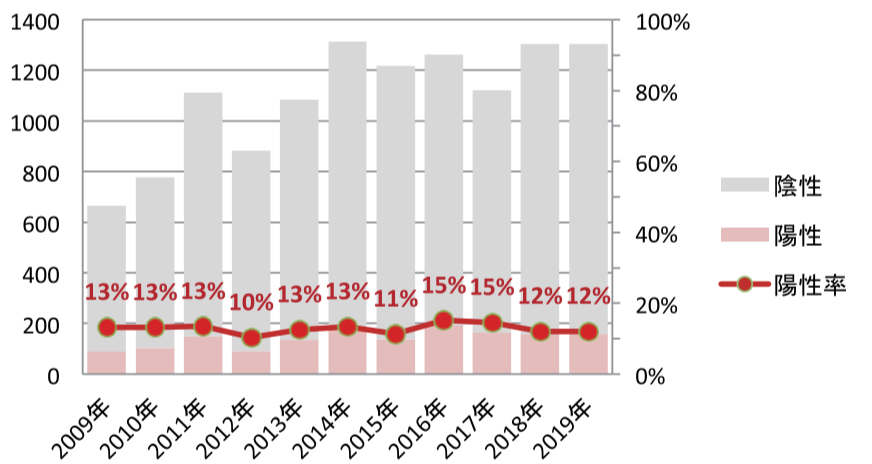
内視鏡検査を実施した患者の検査結果 2012〜2019年



友の会会員の方は、1年に1度無料で便潜血検査が受けられます。



友の会大腸癌健診結果の年推移



## 知って得する 社会保障

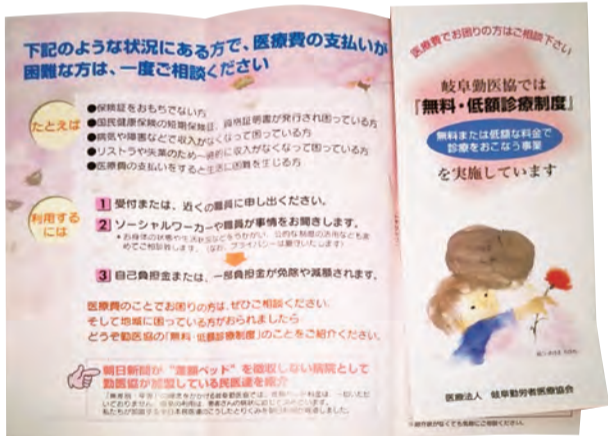
### 無料低額診療事業について

無料低額診療制度は、経済的な理由で医療費の支払いが困難な方の医療費の自己負担金の減額や免除を一定期間行う制度です。医療機関ごとに行政より認可を受ける必要があるのですが、どの病院でも利用できる訳ではありません。岐阜県内では、岐阜勤労者医療協会の関連事業所4か所と他の病院1か所で行われています。

◎体調が悪く仕事ができず収入が途絶え、お金がかかり病院にかかることができなかった方

◎保険証がなく医療費の請求が心配で病院にかかることができなかった方

◎定期通院が必要だがお金のことを考えると病院から足が遠のいてしまった方などが、これまでにこの制度を利用されています。相談がきっかけで、他の公的な制度利用につながる方もいます。(制度



## 住宅型有料老人ホーム「すこやか」 新型コロナウイルス陽性判明

介護事業部長 岩原 田鶴子

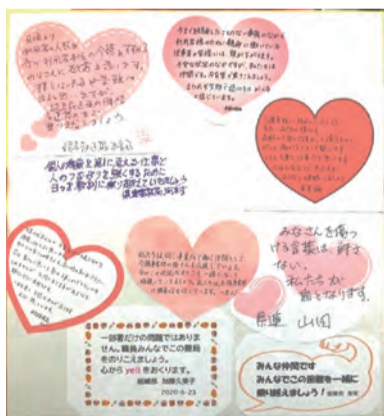
6月15日、住宅型有料老人ホーム「すこやか」にて新型コロナウイルス陽性判明となりました。友の会の皆様にはご心配とご迷惑をおかけしました。謹んでお詫び申し上げます。

この度のコロナ陽性の詳細ですが、住宅型有料老人ホームの入居者様1名と介護をした職員1名が陽性となりました。幸いにも、事業所内部での感染拡大はせず、この件に關しまして6月29日に終息となり、7月1日より通常運営となりました。詳しくはインターネットにて検索して頂くホームページ上に掲載しておりますのでご覧ください。

行政からは、「コロナはどこで発生してもおかしくない状況

です。クラスター化させなかったことを評価しています。日頃の感染対策がちゃんとしているのですね。」と言っていました。しかし、現場の職員の緊張と精神的なダメージは大きく、職場崩壊が起こるのではと心配しましたが、法人対策本部ができ、本部長は岩井理事、マスコミ対応は県連事務局長と専務、保健所対応はみどり病院事務長、そして職員のメンタルサポートチーム等が活躍しました。

地域の方や、職員の方からも多くの励ましをして頂き、一番の心の支えとなりました。引き続き、感染対策を徹底し、安心して利用して頂けるように職員一同頑張ります。



他部署から寄せられた応援メッセージ